

Navi.4 いつでもどこでも 常に子どもをサポート

フェアプレーにはグリーンカード

グリーンカードの使い方の例
 ●ピッチ内：サッカーの原点、スポーツマンシップへ
 ↳フェリエーがたとえ見切れなくても真実のとおり
 ↳判定は違っても自分が外に出したボールであれば、正直に自己申告する。
 同じ条件で正々堂々とプレーするもの
 ↳人多いことに乗じて攻め込んだりしない。
 ↳ケガをして苦しんでいるプレーヤーがいて、ゲームが続いてしまっていたら、レフェリーに伝える。
 ※その誠実な気持ちに、外から決してプレッシャーをかけないでください！

●ピッチ外
 施設や用具を大切にす。
 困っている人を助ける。
 「誰かがやるからいい」ではなく、見てみぬふりをせずに自分から率先して行動する
 例えば：落し物を拾って届けてあげた。ゴミを拾った。



●家
 目標を決めて、今までできなかったことに挑戦してみよう。
 例えば：挨拶をしっかりとす。忘れ物をしなくなった。家事の手伝いをした。朝ひとりで起きられるようになった

JFAはU-12以下の試合で
 グリーンカードの使用を推奨しています。



Navi.4

いつでもどこでも
常に子どもをサポート

根本的な部分への アプローチ

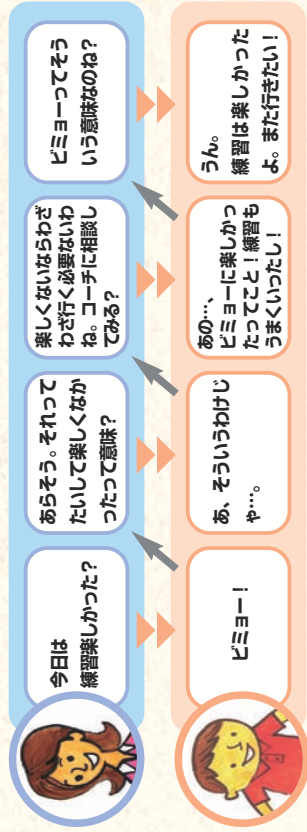
サッカーの練習だけでは変わらないこと



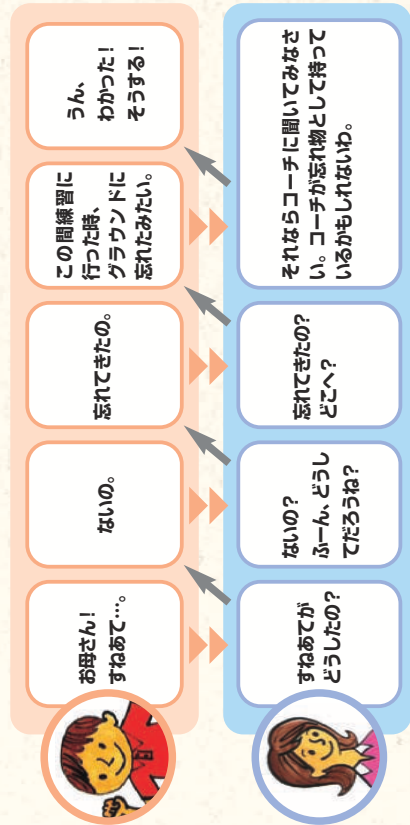
論理的に考える力を引き出す

- 子どもを自立させるために

- 「何となく」「ビミョー」を許さない



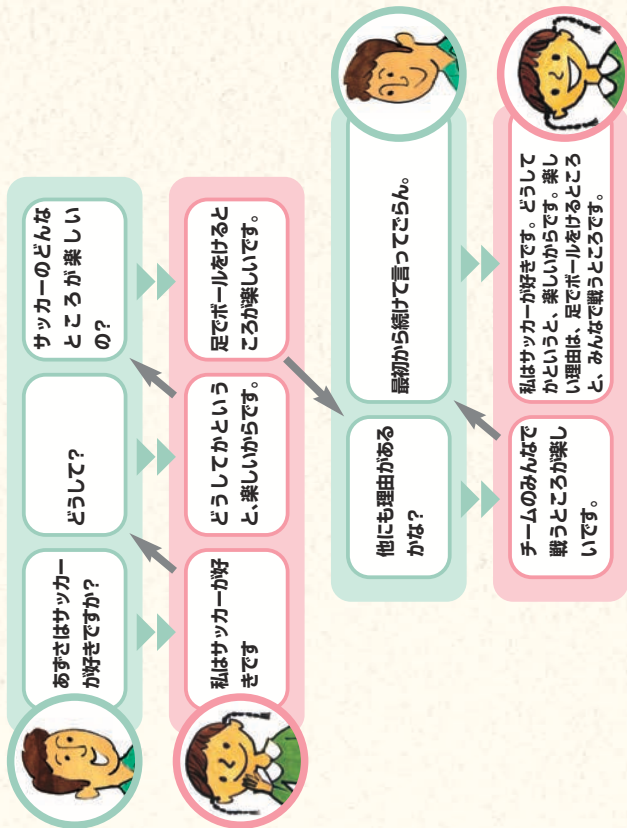
- 具体的に考える機会を与える



母親が「すねあてはこの間の練習時、グラウンドに忘れたんじゃない?」と尋ねれば「0秒でやりとりは終わりますが…」

●論理的に考える機会を与える

- 1
- 2
- 3



●5W1Hをフル活用



起こったことか 起こったことか かかっているのか 起こったのか 起こったのか 起こったのか どのような状況か



参考図書 ●「論理的に考える力を引き出す」三森ゆりか (一声社)「絵本で育てる情報分析力」三森ゆりか (一声社)「イラスト版ロジカル・コミュニケーション」三森ゆりか (一声社)